

7月5日(金) 第3会場(5F コンコードボールルームC)

8:45 ~ 8:55 開会式
会長：河野 道宏 (東京医科大学 脳神経外科)

8:55 ~ 10:15 セッション 1
顔面神経麻痺に対する形成外科的手術
座長：林 明照 (東邦大学医療センター佐倉病院 形成外科)
岡崎 睦 (東京大学大学院医学系研究科 形成外科学分野)
朝戸 裕貴 (獨協医科大学附属病院 形成外科)

- S1-1 部分切開舌下神経-顔面神経直接縫合術による顔面神経麻痺の再建
吉岡 伸高 (富永病院 神経形成外科)
- S1-2 硬膜内・側頭骨内腫瘍に関連する顔面神経麻痺に対する当科の治療戦略
成田 圭吾 (杏林大学 形成外科)
- S1-3 先天性両側顔面神経麻痺に対する咬筋神経を用いた動的再建術の経験
垣淵 正男 (兵庫医科大学 形成外科)
- S1-4 島状側頭筋移行術による笑いの再建における術前後の健側口角挙上角度の変化に関する検討
平田 晶子 (東邦大学医療センター大橋病院 形成外科)
- S1-5 病的共同運動を伴う顔面神経不全麻痺患者に対する眼輪筋減量術の術後経過
富岡 容子 (東京大学 形成外科)
- S1-6 腓腹神経採取における内視鏡下血管採取システム (Vasoview Hemopro 2) の使用経験
成田 圭吾 (杏林大学 形成外科)
- S1-7 当院において顔面神経麻痺および後遺症に対して形成外科手術を行った症例に関する検討
七戸 龍司 (手稲溪仁会病院 形成外科)
- S1-8 選択的顔面神経切断術を2回行った症例の検討
竹丸 雅志 (横浜市立市民病院)
- S1-9 顔面神経麻痺後遺症の個別的症状に対して機能と整容的改善を図った再建手術の一例
山路 佳久 (千葉大学 附属病院形成・美容外科)

10:15 ~ 11:45 セッション 2
耳鼻咽喉科手術・顔面神経減荷術
座長：中川 尚志 (九州大学 耳鼻咽喉科)
須納瀬 弘 (東京女子医科大学附属足立医療センター 耳鼻咽喉科)

- S2-1 レセプトデータから見た顔面神経減荷術に関する知見
和佐野 浩一郎 (東海大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科)
- S2-2 顔面神経減荷術の手術適応の検討
小田桐 恭子 (東海大学 線診療学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- S2-3 当科における顔面神経減荷術 (経乳突法) について
斎藤 杏子 (福井大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- S2-4 妊娠後期に発症した重症 Bell 麻痺に対して顔面神経減荷術を施行した1例
宮嶋 宏樹 (伊那中央病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科)

- S2-5 顔面神経を合併切除した耳下腺悪性腫瘍症例における QOL の検討
佐藤 崇 (大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)
- S2-6 耳下腺浅葉腫瘍に対する被膜外摘出術と葉部分切除術の比較検討
杉山 元康 (山形県立中央病院 頭頸部・耳鼻咽喉科)
- S2-7 Bell 麻痺を合併した耳下腺悪性腫瘍の 1 例
鈴木 貴博 (東北医科薬科大学)
- S2-8 悪性転化が疑われた顔面神経鞘腫真珠腫合併症例
捨田利 慧 (慶應義塾大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室)
- S2-9 内耳道限局聴神経腫瘍に発症した顔面神経麻痺の 2 症例の検討
岡本 昌之 (福井大学 耳鼻咽喉科)
- S2-10 頸部郭清後の顎下部に生じた Frey 症候群の 1 例
川崎 洋平 (秋田大学 耳鼻咽喉科)

11:50 ~ 12:10 総会

12:20 ~ 13:20 ランチョンセミナー 10

失敗しない道具選び - 手技に合わせた手術用顕微鏡とは -
座長：吉本 幸司 (九州大学 脳神経外科)

共催：三鷹光器株式会社

- LS10-1 顕微鏡下手術における必須手技の再考と適正な機器選択～ learning curve を高めるために～
大谷 直樹 (日本大学 脳神経外科)
- LS10-2 中耳 (側頭骨) 手術施行時の姿勢・視野・ワーキングスペース
稲垣 太郎 (東京医科大学 耳鼻咽喉科)

13:30 ~ 14:40 セッション 3

顔面神経麻痺の評価 (前半)

座長：武田 憲昭 (徳島大学 耳鼻咽喉科)

萩森 伸一 (大阪医科薬科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

領域講習

- S3-1 ENoG の導出部位毎の振幅と予後予測の検討
古川 孝俊 (山形県立新庄病院 耳鼻咽喉科)
- S3-2 鼻筋法 Electroneurography (ENoG) を用いた予後推定の検討
中澤 歩美 (大阪医科薬科大学病院 中央検査部)
- S3-3 当科における ENoG の従来法と正中法の検討
岩村 均 (東京都立多摩総合医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- S3-4 ウイルス性顔面神経麻痺の治療前後における ENoG 値の変化
綾仁 悠介 (大阪医科薬科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- S3-5 FaCE scale と FDI 新庄病院版による顔面神経麻痺の QOL 評価
古川 孝俊 (山形県立新庄病院 耳鼻咽喉科)
- S3-6 初期治療後の末梢性顔面神経麻痺における FaCE Scale“ちどり版”を用いた予後予測
兼田 千恵美 (千鳥橋病院 リハビリテーション技術部言語聴覚士)
- S3-7 自動予後診断システムによる急性片側性顔面神経麻痺の予後予測 第 5 弾
江崎 伸一 (名古屋市立大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

- S3-8 患側 CMAP による累積治癒率と予後推定
岡崎 愛志 (大阪医科薬科大学病院 中央検査部)

14:40 ~ 15:30 セッション 3

顔面神経麻痺の評価 (後半)

座長：山田 武千代 (秋田大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科)

森嶋 直人 (豊橋市民病院 リハビリテーションセンター)

領域講習

- S3-9 高度神経障害例は発症後 1 年新柳原法スコア評価が必要である
小林 玲音 (昭和大学 麻酔科学講座)
- S3-10 小児における積分筋電図による予後診断の有用性について
馬場 信太郎 (東京都立小児総合医療センター 耳鼻咽喉科)
- S3-11 積分筋電図による顔面神経麻痺評価の新たなパラメーターの開発
— 随意運動回復を考慮した病的共同運動の評価 —
真田 将太 (豊橋市民病院 リハビリテーションセンター)
- S3-12 積分筋電図による顔面神経麻痺に対する新たなパラメーターの開発
- 最大収縮後の持続電位について -
森嶋 直人 (豊橋市民病院 リハビリテーションセンター)
- S3-13 エコーによる表情筋の厚みを指標とした顔面神経麻痺後遺症の顔面拘縮の評価
戸田 直紀 (阿南医療センター 耳鼻咽喉科)
- S3-14 伸縮ひずみセンサ計測システムを使用した頬部柔軟性の評価
— 検者間信頼性と発症からの経時的変化 —
東福寺 早織 (東海大学付属病院 リハビリテーション技術科)

15:40 ~ 17:20 Korean-Japanese Joint Symposium

Chairperson : Ayato Hayashi (Department of plastic and reconstructive surgery, Yokohama city university)

Hak Chang (Department of Plastic and Reconstructive Surgery Seoul National University College Medicine)

Masao Kakibuchi (Department of plastic surgery Hyogo Medical University)

共催：サンエー精工株式会社

- KJ-1 Infiltrative Fibrous Lesion of the Facial Nerve Mimicking a Facial Nerve Tumor
Yang-Sun Cho (Sungkyunkwan University Samsung Medical Center, Seoul, Korea)
- KJ-2 The 2023 clinical practice guidelines for Bell's palsy and Hunt syndrome in Japan
Shin-Ichi Haginomori (The Japan Society of Facial Nerve Research Clinical Practice Guidelines Committee / Department of Otolaryngology - Head and Neck Surgery, Osaka Medical and Pharmaceutical University)
- KJ-3 Induction of nitric oxide and its role in facial nerve regeneration and degeneration after facial nerve injury
Seung Geun Yeo (Department of Otorhinolaryngology, College of Medicine, Kyung Hee University)
- KJ-4 Management of the facial nerve during the surgery for intratemporal lesions
Masashi Hamada (Department of Otolaryngology, Head and Neck Surgery Tokai University, School of Medicine)
- KJ-5 Lower Lip Balancing in Facial Palsy Patients using TFL Sling and Multi-Vector Free Muscle Transfer
Tae Suk Oh (Asan Medical Center)
- KJ-6 Our recent trial of Lengthening Temporalis Myoplasty using an intraoral approach
Ayato Hayashi (Department of plastic and reconstructive surgery, Yokohama city university)

7月5日(金) 第4会場(4F 花A)

8:55 ~ 10:20 セッション 4

研究・ウィルス

座長：羽藤 直人（愛媛大学 医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
土井 勝美（国際総合病院 耳鼻咽喉科）

- S4-1 日本顔面神経学会の将来展望
山田 武千代（秋田大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科）
- S4-2 当科で入院加療を行った顔面神経麻痺症例の検討
百束 紘（横須賀共済病院 耳鼻咽喉科）
- S4-3 咽喉頭帯状疱疹症例における末梢性顔面神経麻痺の検討
柳 紘子（手稲溪仁会病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- S4-4 ウイルス性顔面神経麻痺の予後に関する因子の検討
浜崎 泰佑（昭和大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座）
- S4-5 高齢者の Bell 麻痺についての検討
山田 啓之（愛媛大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- S4-6 ウイルス性顔面神経麻痺と血清抗体価について
後藤 崇成（山形大学 耳鼻咽喉科）
- S4-7 外傷性顔面神経麻痺症例の検討
近藤 俊輔（琉球大学 耳鼻咽喉科）
- S4-8 当科における両側性顔面神経麻痺症例の検討
田中 武道（愛媛大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- S4-9 逆行性染色法を利用した顔面神経核の立体的構築および高度麻痺モデルでの検討
岩田 真治（愛媛県立新居浜病院 耳鼻咽喉科）
- S4-10 生成 AI の顔面神経麻痺に対する現在の理解度
曾東 洋平（新潟大学大学院医歯学総合研究科 形成・再建外科）

10:20 ~ 11:05 セッション 5

顔面けいれんの手術

座長：樋口 佳則（千葉大学 脳神経外科）
久須美 真里（北里大学メディカルセンター 脳神経外科）

- S5-1 「Painful tic convulsif」に対する治療：歴史的背景に関する考察とともに
樋口 佳則（千葉大学 脳神経外科）
- S5-2 椎骨動脈の転位を要する片側顔面痙攣への微小血管減圧術の取り組み
大谷 直樹（日本大学病院 脳神経外科）
- S5-3 片側顔面痙攣に対する外視鏡と内視鏡併用による確実な手術
久須美 真理（北里大学メディカルセンター 脳神経外科）
- S5-4 当院における微小血管減圧術の手術手技と手術成績：テフロンフェルトと万能鑷子
矢木 亮吉（大阪医科薬科大学 脳神経外科脳血管内治療科）
- S5-5 両側椎骨動脈 transposition を要した片側顔面けいれんの一例
折口 槇一（千葉大学 脳神経外科）

11:05 ~ 11:50 セッション 6

手術後の顔面神経麻痺

座長：大宅 宗一（群馬大学 脳神経外科）

濱田 昌史（東海大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

- S6-1 小脳橋角部腫瘍摘出術後の顔面神経麻痺に関する検討
本多 伸光（愛媛県立中央病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- S6-2 Lateral suboccipital approach 直後に対側顔面麻痺を呈した 2 症例
中野 茂樹（千葉大学 脳神経外科）
- S6-3 三叉神経痛に対する脳神経減圧術後に遅発性顔面神経麻痺を生じた 1 例
山野 晃生（筑波大学医学医療系 脳神経外科）
- S6-4 顎下部手術における顔面神経下顎縁枝麻痺について
久保 和彦（千鳥橋病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- S6-5 顎下腺手術後に頸部前屈を誘因とする下口唇偏位を認めた 1 例
藤原 圭志（北海道大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室）

14:05 ~ 14:55 セッション 7

顔面神経麻痺を作らない脳神経外科手術

座長：原 貴行（虎の門病院 脳神経外科）

近藤 聡英（順天堂大学 脳神経外科学講座）

- S7-1 錐体斜台部近傍髄膜腫に対して顔面神経を温存するための工夫
後藤 剛夫（大阪公立大学 脳神経外科）
- S7-2 聴神経腫瘍に対する“見える化を駆使した機能温存手術”
中富 浩文（杏林大学 脳神経外科）
- S7-3 聴神経腫瘍摘出術における顔面神経温存のための内耳道 fundus の微小解剖
菅原 貴志（国際医療福祉大学 脳神経外科）
- S7-4 顔面神経背側走行タイプの聴神経腫瘍摘出術法
渡邊 健太郎（東京慈恵会医科大学 脳神経外科）
- S7-5 画像誘導内視鏡下耳科手術における新しい顔面神経同定法
内田 真哉（京都第二赤十字病院 耳鼻咽喉科・気管食道外科）

14:55 ~ 16:25 セッション 8

リハビリテーション・後遺症

座長：仲野 春樹（大阪医科薬科大学 リハビリテーション科）

信太 賢治（昭和大学横浜北部病院 麻酔科）

- S8-1 地方における顔面神経麻痺リハビリテーション療法の集約的対応
金子 富美恵（和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- S8-2 当院における顔面神経麻痺リハビリテーションの実際と形成外科的治療との連携
小野 京都（おおつかクリニック）
- S8-3 当院における陳旧性顔面神経麻痺のリハビリテーション加療について
白戸 有子（栞記念病院 リハビリテーション科）

- S8-4 当科における就園前の小児顔面神経麻痺後遺症治療の工夫
高橋 美香 (高橋クリニック 泌尿器科・耳鼻咽喉科)
- S8-5 外科治療後に早期からリハビリテーション介入し良好な結果を得た一例
満山 紗佑里 (枳記念病院)
- S8-6 日本顔面神経学会認定顔面神経麻痺リハビリテーション指導士認定制度発足後の患者紹介状況についての報告
浅野 翔 (愛知医科大学病院 リハビリテーション部)
- S8-7 顔面神経リハビリテーション外来における患者アンケート解析
森岡 繁文 (京都第二赤十字病院 耳鼻咽喉科・気管食道外科)
- S8-8 末梢性顔面神経麻痺患者の顔面部不快感に対する鍼治療の影響
林 健太郎 (東京大学附属病院 リハビリテーション部)
- S8-9 鍼灸師を対象とした顔面神経麻痺患者に対する鍼治療の実態調査研究
堀部 豪 (埼玉医科大学 東洋医学科)
- S8-10 顔面神経麻痺の診療専門医を対象とした鍼灸に関する意識調査
金子 聡一郎 (新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 鍼灸健康学科)
- S8-11 顔面神経麻痺患者に対するセルフメイクアップケアのしおり作成の取り組み 第二報
勝見 さち代 (名古屋市立大学 耳鼻咽喉頭頸部外科)

16:25 ~ 17:25 セッション 9

症例

座長：近藤 健二 (東京大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
藤本 保志 (愛知医科大学 頭蓋底外科センター)

- S9-1 多発脳神経障害を伴う Ramsay-Hunt 症候群の 1 例
椎名 和弘 (秋田大学 耳鼻咽喉科)
- S9-2 両側同時性顔面神経麻痺を発症した伝染性単核球症の 1 例
岩村 均 (東京都立多摩総合医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- S9-3 皮膚科で帯状疱疹治療後に発症した顔面神経麻痺の 2 症例
畑 裕子 (東京品川病院 耳鼻咽喉科／三井記念病院 耳鼻咽喉科)
- S9-4 急性の顔面神経麻痺を認めた頭蓋内悪性末梢性神経鞘腫瘍の 1 例
四條 克倫 (日本大学 脳神経外科)
- S9-5 急速に進行した中耳悪性リンパ腫の症例—顔面神経麻痺の検討—
小泉 洸 (秋田大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- S9-6 早期診断治療できたサルコイドーシスによる両側顔面神経麻痺
平賀 良彦 (静岡赤十字病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- S9-7 分娩を契機に発症した両側同時性顔面神経麻痺の 1 例
渡邊 聖吾 (東京大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

7月6日(土) 第3会場(5F コンコードボールルームC)

8:30 ~ 9:20 FNR・JSBS 合同セッション
 顔面神経鞘腫の手術・放射線治療
 座長：村上 信五(名古屋市立大学附属 東部医療センター)
 山本 裕(東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室)

- JS-1 顔面神経鞘腫に対するガンマナイフ治療の成績
 [Keynote] 長谷川 俊典(小牧市民病院 脳神経外科)
- JS-2 顔面神経鞘腫に対する外科治療
 松島 健(東京医科大学 脳神経外科)
- JS-3 側頭骨内顔面神経鞘腫の麻痺の程度へ影響を与える因子についての検討
 南方 寿哉(名古屋市立大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科)
- JS-4 当科で手術治療をした耳下腺内顔面神経鞘腫の3例
 下田 光(神戸大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科)
- JS-5 顔面神経鞘腫に対する治療介入の検討事項
 鰐淵 昌彦(大阪医科薬科大学 脳神経外科・脳血管治療科)

9:30 ~ 11:00 パネルディスカッション
 ボツリヌス毒素の使い方
 座長：多久嶋 亮彦(杏林大学 形成外科)
 成田 圭吾(杏林大学 形成外科)

- パネリスト 羽藤 直人(愛媛大学医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
 清水 史明(大分大学附属病院 形成外科)
 橋川 和信(名古屋大学大学院医学系研究科 形成外科学)
 田邊 牧人(耳鼻咽喉科サージックリニック老木医院 大阪中耳サージセンター)
 古川 孝俊(山形県立新庄病院 耳鼻咽喉科)
 古田 康(手稲溪仁会病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

11:10 ~ 12:10 セッション 10
 顔面拘縮・病的共同運動
 座長：松田 健(新潟大学 形成外科教室)
 阪上 雅史(兵庫医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

- S10-1 異常共同運動に対する眼輪筋減量術のアプローチ
 中山 大輔(杏林大学 形成外科)
- S10-2 咬筋神経と舌下神経の二重神経支配筋を用いた頬部病的共同運動・拘縮の治療のころみ
 大河内 真之(帝京大学 形成外科)
- S10-3 いわゆる「拘縮ライン」を解除することで得られる顔面拘縮治療効果の検討
 上原 幸(大分大学附属病院 形成外科)
- S10-4 顔面拘縮に対するボツリヌス毒素療法を併用したりハビリテーションの治療効果
 東 貴弘(徳島大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科)

- S10-5 病的共同運動が緩和された顔面神経麻痺患者の一症例
安達 優子 (亮鍼灸院)
- S10-6 3D スキャナーを用いた後遺症の評価と鍼治療による顔面部の形状的变化
粕谷 大智 (新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部鍼灸健康学科)

12:30 ~ 13:30 ランチョンセミナー 14
座長：中富 浩文 (杏林大学 脳神経外科)

共催：日本光電工業株式会社

- LS14 側頭骨頭蓋底外科における術中顔面神経持続モニタリングの実際
大石 直樹 (慶應義塾大学 耳鼻咽喉科)

13:30 ~ 13:40 閉会式
会長：河野 道宏 (東京医科大学 脳神経外科)

13:45 ~ 17:55 第 14 回 顔面神経麻痺リハビリテーション講習会
司会：森嶋 直人 (豊橋市民病院 リハビリテーションセンター)

「顔面神経麻痺の病態・診断・治療」
古川 孝俊 (山形県立新庄病院 耳鼻咽喉科)

「顔面神経麻痺の評価」
藤原 圭志 (北海道大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

「顔面神経麻痺リハビリテーションの基礎」
森嶋 直人 (豊橋市民病院 リハビリテーションセンター)

「顔面神経麻痺リハビリテーションの実際」
飴矢 美里 (愛媛大学 耳鼻咽喉科)

「顔面神経麻痺に対するボツリヌス毒素療法」
小田桐 恭子 (東海大学専門診療学系 耳鼻咽喉科学)

「顔面神経麻痺に対する形成外科治療」
林 礼人 (横浜市立大学 形成外科学講座)